銀座煉瓦街　出典：Kjeld Duits Collection / Meiji Showa. com

1章

近代都市建設の黎明（れいめい）

新技術の普及と首都の発展［1860年代–1910年代］

新政府は欧米列強と結んだ不平等条約の改正に向けて、西洋技術を導入しながら
東京を一等国にふさわしい風格を備えた首都にしようと試みました。
また、様々な都市問題などに対応するべく、
我が国最初の都市計画法制といえる市区改正条例に基づきインフラの整備がなされ、
一部の市街地の改良は進んだものの、江戸時代の都市の骨格は維持されたままでした。

【明治・大正初期の主な出来事】

明治元（1868）年 ▶
王政復古の大号令（明治政府樹立）
江戸から「東京」へ改称
「東京府」の設置

明治4（1871）年 ▶
工学寮の設置

明治5（1872）年 ▶
鉄道の開通（新橋―横浜間）
銀座煉瓦街の計画・開発
太政官布達（公園の誕生 1873）

明治15（1882）年 ▶
コレラの大流行

明治16（1883）年 ▶
鹿鳴館の竣工

明治19（1886）年 ▶
「官庁集中計画案」の策定

明治20（1887）年 ▶
神田下水の整備

明治21（1888）年 ▶
東京市区改正条例の公布

明治22（1889）年 ▶
東京市制施行
「東京市区改正設計（旧設計）」の告示

明治31（1898）年 ▶
市制特例廃止により東京市が一般市となる

大正3（1914）年 ▶
東京駅の開業